

当館所蔵 林羅山旧蔵書（漢籍） 解題①

土屋 裕 史

はじめに

本稿は、国立公文書館（内閣文庫）が所蔵する漢籍のうち、林羅山が所蔵していた書物を調査したものである。

林羅山（一五八三～一六五七）は、名を信勝、僧号を道春といい、徳川家康に仕えて「知」の側面から江戸幕府を支えた、江戸時代初期の儒学者である。京都に生まれた羅山は、幼少の頃より聡明で、非常に読書を好み、人から書物を借りては筆写するといった方法などにより、自身の蔵書を増加させていったのである。

羅山は、幕府に仕えた後も、読書と書籍の収集に力を注ぎ、晩年には数万巻の蔵書を保有していたという。「明暦の大火」により、羅山がその時に所有していた万巻の書物は焼失しているが、火事の前（正保四年）に二人の息子に分与していた書籍は、幸いにも「明暦の大火」による焼失を免れた。それらの書籍も、江戸時代に度々発生した火災により、その数を減らしていったが、昌平坂学問所を経て当館に収蔵され、現在その数は、漢籍では四三七部四三八五冊となっている。

本稿の後半部に附した一覧表は、現在当館が所蔵している林羅山旧蔵書（漢籍）のリストであり、前半部の解題は、このリストのうち特筆すべき事項のある書物について解説を加えたものである。

なお、本稿の林羅山旧蔵書（漢籍）とは、林羅山の代表的な蔵書印であ

る「江雲涓樹」が捺され、『改訂内閣文庫漢籍分類目録』（準漢籍を含む）に「林羅山本」とあるものに、蔵書印は捺されていないが林羅山自身の書き入れなどにより、その旧蔵書であることが明白なものを加えたものである。

凡例

- 一 各書籍を取り上げる順序は『改訂内閣文庫漢籍分類目録』（一九七一年刊）に基づく（以後「当館目録」と省略する）。
- 一 解題のタイトル部に附す三桁の数字は、一覧表の通番に対応している。
- 一 表記は新字体を基本とし、仮名遣いは表音式によった。
- 一 引用文献等については以下のとおり。

『経籍訪古志』（渋江全善・森立之編、解題叢書所収、国書刊行会、一九一六年刊）

『増補古活字版之研究』上巻（川瀬一馬著、日本古書籍商協会、一九六七年刊）

『内閣文庫書誌の研究』（福井保著、日本書誌学大系12、青裳堂書店、一九八〇年刊）

『内閣文庫百年史 増補版』（国立公文書館編、汲古書院、一九八六年刊）

001 周易 九卷 周易略例一卷

五冊（魏）王弼注（晋）韓康伯注

林羅山旧蔵〔請求番号別〇四二一〇〇〇七〕

本書は、儒学の重要な經典の一つである『周易』（『易経』、『易』ともいう）の注釈書を、室町時代に書写したものである。「周易略例」は魏の王弼撰・唐の邢璣注。蔵書印に林羅山の「江雲渭樹」のほか、孫の梅洞の蔵書印である「勉／亭」が捺されていることから、羅山が六五歳の時に梅洞（当時五歳）へ授けた「五経旧版本」の一つと考えられる。

林梅洞（一六四三～一六六六）は、名を慤、春信、字を孟著といい、羅山の三男である鷺峯（一六一八～一六八〇）の長男である。梅洞は幼少の頃より羅山の薫陶を受け、将来を嘱望されたが、二四歳の若さで没した。梅洞への教育に対する羅山の熱心さは、羅山の詩文集（『羅山林先生集』）に収められた年譜の記事からも読み取ることができる。

正保四年（一六四七）「其所余者可界嫡孫春信既而先以少年所誦之論孟古注五経旧版本授春信」（羅山六五歳）

承応元年（一六五二）「先生口授四書句読於春信」（羅山七〇歳）

承応三年（一六五四）「口授五経句読於春信」（羅山七二歳）

【版式】

四周単辺（二二・三糎×一四・五糎）有界每半葉八行每行一六字注文双行一六字

【蔵書印】

「江雲渭樹」の印が、第一冊首にあり。

「羅／山」の印が、毎冊尾（第五冊欠）にあり。

「勉／亭」の印が、第一冊首にあり。

「林氏／蔵書」の印が、毎冊首にあり。

「昌平坂／学問所」の印が、每表紙、毎冊尾にあり。

「大学／蔵書」の印が、毎冊首にあり。

「書籍／館印」の印が、毎冊首にあり。

「浅草文庫」の印が、毎冊首にあり。

「日本／政府／図書」の印が、毎冊首、毎冊尾にあり。

【刊行年代等】

●室町写：当館目録、一頁（上段）。

●元龜天正間鈔本：『経籍訪古志』、八頁。

002 周易正義 一四卷

七冊（唐）孔穎達等奉勅撰

林羅山旧蔵〔請求番号別〇四六〇〇〇二〕

本書、唐の孔穎達（五七四～六四八）らが編纂した『周易』の注釈書を、中国大陸出身の王月軒という人物が、天正年間に「武州川越」で書写したものである。『経籍訪古志』（一〇頁）によれば、王月軒は「備書」（雇われて文書の書き写しをすること）によって生計を立てていた人物という。なお、本書の第一・三・五・七冊の末尾に「大明国人王氏月軒書」などの墨書がある。

【版式】

四周単辺（二〇・〇糎×一四・八糎）有界每半葉一一行每行二〇字注文双行二〇字

【蔵書印】

「江雲渭樹」の印が、第一冊首にあり。

「林氏／蔵書」の印が、毎冊首にあり。

「昌平坂／学問所」（墨）の印が、每表紙、毎冊尾にあり。

「大学／蔵書」の印が、毎冊首にあり。

「書籍／館印」の印が、第一・二冊首のみにあり。

「浅草文庫」の印が、毎冊首にあり。

「日本／政府／図書」の印が、毎冊首、毎冊尾にあり。

「内閣／文庫」の印が、毎冊首、毎冊中、毎冊尾にあり。

【刊行年代等】

●室町末写（王月軒）…当館目録、一頁（上段）。

●元亀天正間鈔本…『経籍訪古志』、一〇頁。

003 蔡虚斎先生易経蒙引 二四卷

一二冊（明）蔡清撰（明）葛寅亮校

林羅山旧蔵〔請求番号二七三—〇〇六五〕

本書は、明時代の学者である蔡清（一四五二—一五〇八）が編纂した『周易』の注釈書で、朱熹の学説に基づいている。蔡清は、字は介夫、諡は文莊、虚斎先生と称せられた。成化二〇年（一四八四）の進士で、著書に『四書蒙引』などがある。また葛寅亮は、万曆二九年（一六〇一）の進士で、著書に『四書湖南講』などがある。

なお、本書の第一二冊の末尾に「羅山道春一管窺」の朱書があり、さらに林鶯峯の手識がほぼ全冊（第四・八冊を除く）の末尾にみられる。

【版式】

四周単辺（二〇・八糎×一一・五糎）無界 每半葉九行 每行二六字 注文単行 二六字 版心白口 単黒魚尾

【蔵書印】

「江雲渭樹」の印が、第一冊首にあり。

「林氏／蔵書」の印が、毎冊首にあり。

「昌平坂／学問所」（墨）の印が、每表紙、毎冊尾にあり。

「大学校／図書／之印」の印が、毎冊首にあり。

「浅草文庫」の印が、毎冊首にあり。

「日本／政府／図書」の印が、毎冊首、毎冊尾にあり。

【刊行年代等】

第一冊首に「封面」あり。上段に「葛岷瞻先生評定」と横書きし、その下に縦書きで「本府蔵版」と中央に書き、その左右に「蔡虚斎先生」「易経蒙引」と書す。

●明刊…当館目録、四頁（上段）。林羅山手跋本。

005 古文尚書 一三卷

三冊（漢）孔安国伝

林羅山旧蔵〔請求番号別〇二二—〇〇〇八〕

本書は、儒学の重要な經典の一つである『尚書』（『書経』ともいう）の注釈書を、羅山自身が青年期に書写したものである。本書に附された鶯峯の「跋文」や羅山の年譜（001『周易』を参照）によれば、承応三年、羅山は孫の梅洞に『尚書』の読み方を教授した際に使用したのが本書である。

なお、本書の第三冊の末尾に「慶長八年秋七月以清家秘本写墨点者也 信勝」という羅山の墨書があり、さらに本書の来歴を記した鶯峯の「跋文」が附綴されている。鶯峯の「跋文」については、「内閣文庫蔵書題跋」（『内閣文庫書誌の研究』所収、一四頁）に全文を載せる。

【版式】

四周单边（二一・〇糎×一六・八糎）無界每半葉九行 每行二〇字 注文双行二〇字

【蔵書印】

「江雲渭樹」の印が、第一冊首にあり。

「羅／山」の印が、每冊尾にあり。

「勉／亭」の印が、第一冊首にあり。

「林氏／蔵書」の印が、每冊首にあり。

「昌平坂／学問所」(墨)の印が、每表紙(第三冊欠)、每冊尾にあり。

「書籍／館印」の印が、每冊首にあり。

「浅草文庫」の印が、每冊首にあり。

「日本／政府／図書」の印が、每冊首、每冊尾にあり。

【刊行年代等】

●慶長八年写(林信勝)：当館目録、六頁(下段)。林羅山手跋本。

●林羅山手鈔本：『経籍訪古志』、一三三頁。

017 五経大全 周易伝義大全二四卷首一卷 書伝大全一〇卷首一卷 詩経大全二〇卷首一卷 礼記集説大全三〇卷 春秋集伝大全三七卷

五六冊 (明)胡広等 奉勅編

林羅山旧蔵〔請求番号二七五―〇二五二〕

儒学の五つの經典である「周易」「書経」「詩経」「礼記」「春秋」の注釈書を集めたもので、その注釈は南宋時代の学者である朱熹(一一三〇―一二〇〇)によって大成された新しい注釈(「新注」)に基づいている。

なお、本書の第一三・一四・一五・一九・二一・三〇・三二冊の末尾に「道春

氏」「道春校之」「道春氏点朱」などの朱書がある。また、第四四冊の末尾に「慶卯冬孟十日以清家之本考之塗丹而贖」の墨書があり、「慶長癸卯」つまり慶長八年(一六〇三)、羅山二二歳時の書き入れと思われる。

【版式】

「周易」四周双边(一八・九糎×一二・四糎)有界每半葉一行 每行二二字 注文双行二二字 版心粗大黒口 双黒魚尾

「春秋」四周双边(一八・三糎×一二・四糎)有界每半葉一行 每行二二字 注文双行二二字 版心粗大黒口 双黒魚尾

【蔵書印】

「江雲渭樹」の印が、第一三・二四・三三・四五冊首にあり。

「胡蝶洞」の印が、第一四冊首にあり。

「羅／山」の印が、第二四・二五・二六・二七・三一・三二冊尾にあり。

「弘文学士院」の印が、第一冊首にあり。

「林氏伝家図書」の印が、第四五冊首にあり。

「林氏／蔵書」の印が、每冊首(第三一冊欠)にあり。

「昌平坂／学問所」(墨)の印が、每表紙、每冊尾(第九冊欠)にあり。

「大学校／図書／之印」の印が、第一〜二冊首にあり。

「大学／蔵書」の印が、第一三・二四〜三三冊首にあり。

「浅草文庫」の印が、每冊首にあり。

「日本／政府／図書」の印が、每冊首、每冊尾にあり。

【刊行年代等】

第一冊尾「周易伝義大全総目」に「大明成化辛卯孟冬／王氏善敬書堂新刊」、第二四冊尾「詩経大全綱領」に「成化乙酉廬陵／羅氏勤有堂刊」、第三三冊尾「礼記集説大全凡例」に「正統六年歲在己酉謹依官本抄録刊行」、第五五冊尾に「隆慶己巳仲春／鄭氏宗文書堂」の木記がある。

●明成化七年刊（内春秋隆慶三年刊）：当館目録、二七頁（上段）。

林羅山手校本。

018 十三經注疏

周易兼義九卷周易略例一卷周易音義一卷尚書注疏二〇

卷毛詩注疏二〇卷詩譜序一卷周礼注疏四二卷儀礼注疏

一七卷礼記注疏六三卷春秋左伝注疏六〇卷春秋公羊注

疏二八卷春秋穀梁注疏二〇卷論語注疏解經二〇卷孝經

注疏九卷爾雅注疏一一卷孟子注疏解經一四卷

一一九冊（明）李長春等校

林羅山旧蔵〔請求番号二七六—〇〇一六〕

儒学で重視される一三種の經典の注釈書を集めたもので、羅山は本書を寛永四年（一六二七）の秋から冬にかけて一読して句点を施し、その後、息子の鷺峯に与えている。また、羅山と鷺峯は、承応三年（一六五四）から承応四年（一六五五）にかけて、足利学校が所蔵している宋版本の「五經」を借用（「公羊伝」は金沢文庫本を使用）し、經典の校勘作業を実施しているが、その際に用いたのが本書である。このことは、鷺峯が「周易」「尚書」「毛詩」「礼記」「春秋左伝」に附した「跋文」に詳しい。「尚書」「毛詩」「礼記」「春秋左伝」に附した「跋文」に詳しい。なお、本書の第一・一三・二九・三〇（三八・二〇一・二〇六・一一一・一一四・二一五・一一九冊の末尾に「羅山氏一考」「道春朱墨点」「道春叟考」などの朱書および「寛永四年孟夏二十四日 羅山氏 考之」などの墨書があるほか、第五三・七三・九三冊の末尾には羅山の「跋文」を附す。

【版式】

〔周易〕四周单辺（一九・四糎×一二・六糎）有界 每半葉九行 每行二二字 注文双行二二字 版心白口 刻者姓名

〔尚書〕左右双辺（二二・五糎×一四・二糎）有界 每半葉九行 每行二二字 注文双行二二字 版心白口 单黒魚尾

【伝来】

〔江雲渭樹〕の印が、第一・六・三〇・四四・五四・七四・九四・一〇二・一〇七・一一一・一二二・一一五冊首にあり。

七・一一一・一一二・一一五冊首にあり。

〔夕顔巷〕の印が、第五三冊尾にあり。

〔羅／山〕の印が、第七三冊尾にあり。

〔林氏／蔵書〕の印が、每冊首（第五・一四冊欠）にあり。

〔昌平坂／学問所〕（墨）の印が、每表紙（第一三・三六六・一〇七冊欠）、每冊尾にあり。

冊尾にあり。

〔大学校／図書／之印〕の印が、每冊首にあり。

〔大学／蔵書〕の印が、第一四〜二九冊首にあり。

〔書籍／館印〕の印が、每冊首にあり。

〔浅草文庫〕の印が、每冊首にあり。

〔大日本／帝国／図書印〕（乙）の印が、每冊首にあり。

〔日本／政府／図書〕の印が、每冊首（第一〜五・三〇〜四三・一一二〜一一四冊欠）にあり。

一一四冊欠）にあり。

【刊行年代等】

〔尚書〕以下の二二の經典には、版心に「万曆一四年」（一五八六）から

「万曆二一年」（二五九三）の刊記あり。

●明万曆刊（北監・有配）：当館目録、二八頁（下段）。林羅山手校本。

020 中庸集略 二卷

二冊（宋）石熟編

林羅山旧蔵〔請求番号二七四—〇〇六七〕

儒学の「四書」の一つである「中庸」について、朱熹へと繋がる宋時代の学者たちの注釈や解説を集めたもので、元和年間から寛永年間に刊行された古活字版である。なお、本書には羅山の書き入れなどはないが、第二冊の末尾に鷺峯の「跋文」が附されている。

【版式】

四周双辺（二二・二種×一六・〇種）無界 每半葉九行 每行一八字 注文双行 一八字 版心粗大黒口 双黒花口魚尾

【蔵書印】

「江雲涓樹」の印が、第一冊首にあり。

「林氏／蔵書」の印が、毎冊首にあり。

「昌平坂／学問所」（墨）の印が、每表紙、毎冊尾にあり。

「大学校／図書／之印」の印が、毎冊首にあり。

「浅草文庫」の印が、毎冊首にあり。

「日本／政府／図書」の印が、毎冊首にあり。

【刊行年代等】

●（元和・寛永間）刊（古活）…当館目録、三一頁（上段）。

●元和寛永中刊…『増補古活字版之研究』上巻、三七九頁。

021 論語集解 一〇巻

林（大学頭）家旧蔵〔請求番号別〇四四—〇〇〇一〕
五冊（魏）何晏撰

孔子の言行録を記した『論語』の注釈書で、羅山が幼少期から愛蔵し、慶安三年（一六五〇）に孫の梅洞に与えたものである。本書の来歴につい

ては、第五冊の末尾に附綴された鷺峯の「跋文」に詳しく記されている。その跋文は「内閣文庫蔵書題跋」〔内閣文庫書誌の研究〕所収、一三頁に全文を載せる。なお、「当館目録」では「林（大学頭）家旧蔵」とするが、蔵書印や「跋文」から「林羅山旧蔵」とするのが正確である。

【版式】

四周单辺（二一・二種×一八・二種）有界 每半葉六行 每行一三字 注文双行 一三字

【蔵書印】

「江雲涓樹」の印が、第一冊首にあり。

「勉／亭」の印が、第一冊首にあり。

「林氏伝家図書」の印が、第一冊首にあり。

「林氏／蔵書」の印が、毎冊首にあり。

「昌平坂／学問所」（墨）の印が、每表紙（第二冊欠）、毎冊尾にあり。

「大学校／図書／之印」の印が、毎冊首にあり。

「浅草文庫」の印が、毎冊首にあり。

「日本／政府／図書」の印が、毎冊首、毎冊尾にあり。

【刊行年代等】

第五冊の末尾に「堺浦道祐居士重新命工鏤梓／正平甲辰五月吉日謹誌」とある。なお、本書の第一冊の見返しに古筆鑑定家の古筆了こひつり仲ちゆう（一六五六—一七三六）の「極書」きわめがきが添付され、本書の原表紙に記された篇名の筆者を横川景三おうえんけいさん（一四二九—一四九三）とする。横川景三は室町時代の相国寺の僧侶で、足利義政の側近である。

●室町刊（正平版单跋本）…当館目録、三二頁（下段）。

（統括公文書専門官室 職員）

林羅山旧蔵書（漢籍）一覽

通番	書名	冊数	請求番号	目録頁	備考
001	周易	5	別 042-0007	1 上	森志著録本、室町写 「江雲渭樹」印、「羅山」印
002	周易正義	7	別 046-0002	1 上	森志著録本、室町末写（王月軒） 「江雲渭樹」印
003	蔡虛齋先生易經蒙引	12	273-0065	4 上	明刊 林羅山手跋本 「江雲渭樹」印
004	易闡	3	273-0075	4 下	明刊 「江雲渭樹」印
005	古文尚書	3	別 022-0008	6 下	森志著録本、慶長8写（林信勝） 林羅山手跋本 「江雲渭樹」印、「羅山」印
006	明朝張柱国発刻略会魁家伝葩経講意 金石節奏	3	273-0252	10 下	明万曆25刊（劉氏安正堂） 「江雲渭樹」印
007	礼記	10	別 062-0003	13 下	〔慶長・元和間〕刊（古活・第一種本） 「江雲渭樹」印なし、「羅山」印
008	文公家礼儀節	4	274-0098	17 上	明刊 「江雲渭樹」印
009	精選東萊先生左氏博議句解	1	274-0138	19 上	明正徳9刊（集義書堂） 「江雲渭樹」印
010	春秋左伝詳節句解	8	274-0154	19 上	明刊 「江雲渭樹」印、「羅山」印
011	春秋経伝集解	8	274-0183	19 下	（春秋左伝評林測義）、明万曆4刊（補写） 「江雲渭樹」印
012	新録湯会元選輯百家評林左伝執型	4	274-0169	19 下	明万曆24刊 「江雲渭樹」印
013	春秋左翼	8	274-0161	19 下	明万曆31序刊 「江雲渭樹」印
014	左腴	3	274-0170	20 上	（左国膳）、明万曆39序刊 「江雲渭樹」印
015	西崎居士春秋経解	2	275-0023	21 下	〔江戸初〕写 「江雲渭樹」印
016	春秋集伝	4	275-0026	21 下	明嘉靖11跋刊 「江雲渭樹」印
017	五経大全	56	275-0252	27 上	明成化7刊（内春秋隆慶3年刊） 林羅山手跋本 「江雲渭樹」印、「羅山」印、「胡蝶洞」印
018	十三経注疏	119	276-0016	28 下	明万曆刊（北監、有配） 林羅山手跋本 「江雲渭樹」印、「夕顔巷」印、「羅山」印
019	古本大学章句合釈文	1	274-0047	31 上	江戸初写 「江雲渭樹」印
020	中庸集略	2	274-0067	31 上	〔元和・寛永間〕刊（古活） 「江雲渭樹」印
021	論語集解	5	別 044-0001	31 下	室町刊（正平版単跋本） 「江雲渭樹」印
022	論語或問	4	275-0122	32 上	江戸初写 林羅山手跋本 「江雲渭樹」印
023	孟子	5	別 048-0003	32 下	〔慶長〕刊（古活・第五種本） 「江雲渭樹」印
024	孟子或問	1	275-0134	32 下	朝鮮刊 林羅山手跋本 「江雲渭樹」印
025	四書蒙引	14	277-0046	36 下	明刊 林羅山手跋本 「江雲渭樹」印
026	新刻註釈四書人物備考	4	277-0207	36 下	明刊 林羅山手跋本 「江雲渭樹」印
027	刻四書便蒙講述	10	277-0076	37 下	明万曆21序刊 「江雲渭樹」印
028	温陵鄭孩如觀静窩四書知新日録	8	277-0189	37 下	明刊 「江雲渭樹」印
029	四書崇熹註解	5	277-0068	37 下	（四書定衡）、明万曆30刊（聯輝堂） 「江雲渭樹」印
030	新鐫項仲昭先生四書嫺嬛集註	5	276-0041	39 上	明刊 「江雲渭樹」印、「胡蝶洞」印
031	四書経正録	5	277-0087	39 下	明崇禎4序刊 「江雲渭樹」印
032	助語辞	1	278-0046	45 上	江戸写 林羅山手跋本 「江雲渭樹」印、「読耕齋」印

033	増広事吟料詩韻集大成	2	別 049-0006	52	下	(学吟備用詩韻大成) (明洪武七年刊本)、南北朝刊(覆明) 「江雲渭樹」印
034	古今韻會舉要	20	別 049-0008	53	上	元刊 「江雲渭樹」印、「羅山」印 ※「北の丸」第44号、74頁参照
035	史記	20	279-0008	57	下	明万曆24刊(南監) 「江雲渭樹」印
036	史記	50	279-0018	57	下	慶長刊(古活・第一種本) 「江雲渭樹」印
037	史記綜芬評林	3	290-0090	58	下	明万曆刊(魏畏所) 「江雲渭樹」印
038	梅太史訂選史記神駒	4	290-0190	58	下	明万曆34刊(喬木山房) 「江雲渭樹」印
039	史記奇鈔	13	290-0091	59	上	明刊 「江雲渭樹」印
040	前漢書	20	279-0050	59	上	明嘉靖8・9刊(万曆26修) 「江雲渭樹」印
041	後漢書	20	279-0075	60	上	明嘉靖8・9刊(南監・天啓3修) 「江雲渭樹」印
042	後漢書	34	279-0079	60	下	寛永刊(古活) 林羅山手校手跋本 「江雲渭樹」印
043	三国志	14	280-0015	61	上	明万曆24刊(蜀志十五卷北監刊) 「江雲渭樹」印
044	晋書	24	280-0025	61	下	刊(明万曆10修) 「江雲渭樹」印 ※「北の丸」第44号、84頁参照
045	宋書	20	280-0034	61	下	明万曆22刊(南監) 「江雲渭樹」印
046	南齊書	8	280-0036	62	上	明万曆16・17刊(南監) 「江雲渭樹」印
047	梁書	6	320-0013	62	上	明万曆3刊(南監) 「江雲渭樹」印
048	陳書	4	280-0045	62	下	明万曆16刊(南監) 「江雲渭樹」印
049	魏書	24	280-0056	62	下	明万曆24刊(南監・天啓修) 「江雲渭樹」印
050	北齊書	6	280-0064	63	上	明万曆16・17刊(南監) 「江雲渭樹」印
051	周書	6	320-0022	63	上	(後周書)、明万曆16刊(南監) 「江雲渭樹」印
052	隋書	20	280-0068	63	下	明万曆22・23刊(南監) 「江雲渭樹」印
053	南史	20	280-0075	63	下	明万曆17～19刊(南監) 「江雲渭樹」印
054	北史	30	280-0081	64	上	明万曆刊(南監) 「江雲渭樹」印
055	旧唐書	40	281-0002	64	下	明嘉靖17序刊(聞人誼・卷1～4補写) 「江雲渭樹」印
056	唐書	50	281-0025	64	下	明万曆23刊(北監) 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
057	五代史記	6	281-0011	65	上	明万曆4刊(南監) 「江雲渭樹」印
058	東萊校正五代史詳節	1	別 052-0005	65	上	宋刊 「江雲渭樹」印 ※「北の丸」第45号、103頁参照
059	遼史	8	320-0041	65	下	明嘉靖8刊(南監) 「江雲渭樹」印
060	金史	20	320-0044	65	下	明嘉靖8刊(南監) 「江雲渭樹」印
061	元史	50	281-0036	65	下	明刊(南監・嘉靖修) 「江雲渭樹」印
062	入注附音司馬温公資治通鑑詳節	16	別 052-0008	69	上	森志著録本、宋刊(元修) 「江雲渭樹」印 ※「北の丸」第45号、104頁参照
063	通鑑釈文弁誤	3	283-0032	69	上	明刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
064	資治通鑑外紀	6	284-0014	69	下	明刊 林羅山手校手跋本 「江雲渭樹」印
065	資治通鑑綱目	97	283-0035	70	上	明刊(卷2下・39下・40上欠) 「江雲渭樹」印

066	資治通鑑綱目前編	14	284-0027	70	下	明正徳元刊(慎独齋・嘉靖39修) 「江雲渭樹」印
067	訂正通鑑綱目前編	10	284-0041	70	下	明刊 「江雲渭樹」印
068	訂正通鑑綱目前編	12	284-0042	70	下	江戸写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印なし
069	続資治通鑑綱目	28	284-0006	70	下	明〔万曆〕刊 「江雲渭樹」印
070	憲章録	20	284-0057	72	下	明万曆2序刊 「江雲渭樹」印
071	新鐫官板音釈標題皇明通紀	10	284-0078	72	下	明万曆刊(陳建) 「江雲渭樹」印
072	新刻明政統宗	16	284-0091	73	上	明万曆43序刊 「江雲渭樹」印
073	両朝憲章録	6	284-0062	73	上	明万曆21序刊 「江雲渭樹」印
074	皇王大紀	12	284-0018	74	上	明刊 「江雲渭樹」印
075	函史	59	286-0063	79	上	明刊 「江雲渭樹」印
076	蔵書	34	286-0061	79	上	附続蔵書、明〔天啓〕刊 「江雲渭樹」印
077	貞観政要	8	別 025-0003	82	下	慶長5刊(古活・伏見版) 「江雲渭樹」印(別印か?)、「胡蝶洞」印
078	貞観政要	6	286-0120	82	下	同上(異植字版)(巻5・9・10欠) 「江雲渭樹」印
079	両朝平攘録	3	286-0185	83	下	江戸写 「江雲渭樹」印
080	毛大將軍海上情形	1	別 042-0009	84	上	江戸初写 「江雲渭樹」印
081	二十一史纂	42	290-0119	87	上	(史書纂略)、明刊(巻25補写) 「江雲渭樹」印
082	新鐫増定歴朝捷録全編	6	290-0137	88	上	明刊 「江雲渭樹」印
083	元朝捷録	1	290-0109	88	上	存1巻(巻5)、明刊 「江雲渭樹」印
084	歴代帝王編年互見之図	1	290-0151	88	下	寛永6跋刊(覆永和) 「江雲渭樹」印
085	孔聖全書	32	287-0066	89	上	明万曆12刊(万曆36修) 「江雲渭樹」印、「羅山」印
086	至聖先師孔子刊定世家	7	287-0063	89	上	明万曆39序刊 「江雲渭樹」印
087	昌黎先生年譜	2	287-0078	90	上	江戸写 「江雲渭樹」印
088	太師徽国文公年譜	1	287-0094	91	上	(宋朱熹)、朝鮮刊 「江雲渭樹」印
089	五朝名臣言行録	19	287-0132	95	上	(宋名臣言行録)、朝鮮刊(古活) (別集下巻1~4、外集10~12補写) 「江雲渭樹」印
090	皇明理学名臣言行録	1	287-0133	97	上	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
091	唐才子伝	3	別 051-0002	97	下	南北朝刊 「江雲渭樹」印
092	新刊 資治通鑑漢唐綱目經史品藻	11	297-0164	100	下	明嘉靖15刊(清江堂) 「江雲渭樹」印
093	言史慎余	1	297-0167	100	下	存1巻(第1冊)、明嘉靖25序刊 「江雲渭樹」印
094	歴代序略	1	297-0168	101	下	江戸初写(林信勝等) 「江雲渭樹」印
095	大明一統志	60	291-0030	104	上	(朝鮮嘉靖43年宣賜本)、朝鮮刊(古活) 「江雲渭樹」印
096	大明一統名勝志	93	291-0035	104	上	明崇禎3序刊(巻26~35欠) 「江雲渭樹」印
097	水経注箋	10	291-0075	126	上	明万曆43序刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
098	西湖遊覧志	16	292-0054	126	下	明〔万曆〕刊 「江雲渭樹」印
099	鴈山志	2	292-0072	127	上	明万曆9序刊 「江雲渭樹」印
100	玉華洞志	1	292-0103	128	下	明天啓3序刊 「江雲渭樹」印
101	羅浮志略	4	292-0125	128	下	明万曆39序刊 「江雲渭樹」印

102	古今疏治黄河全書	1	291-0083	131	上	明万曆39序刊 「江雲涓樹」印
103	西事珥	4	292-0069	132	上	明万曆40序刊 「江雲涓樹」印
104	月令広義	10	291-0003	137	下	明万曆30序刊 「江雲涓樹」印
105	牧民忠告	1	293-0095	139	下	江戸初写（林信勝） 「江雲涓樹」印、「道春」印（朱）
106	文献通考	120	294-0003	141	下	明〔万曆〕刊 「江雲涓樹」印
107	続文献通考	81	294-0013	142	上	明万曆31序刊 「江雲涓樹」印
108	皇明祖訓	1	294-0035	142	下	明刊 「江雲涓樹」印
109	鼎鑄大明律例法司増補刑書據会	10	296-0004	150	上	明刊 「江雲涓樹」印
110	張文忠公奏疏抄	2	287-0032	157	上	明刊 「江雲涓樹」印
111	国史経籍志	5	297-0098	159	上	江戸写 「江雲涓樹」印
112	新鐫図像鄭氏女孝経句解	1	298-0104	166	上	明万曆18序刊 「江雲涓樹」印
113	延平李先生師弟子答問	2	298-0170	167	下	江戸初写（林信勝） 「江雲涓樹」印
114	近思録	3	298-0161	168	上	（朝鮮嘉靖45年刊本）、江戸初写 林羅山手校本 「江雲涓樹」印、「羅山」印
115	朱子語類	48	298-0252	170	下	明万曆32序刊 林羅山手校本 「江雲涓樹」印
116	心経附註	1	299-0007	172	上	朝鮮刊 「江雲涓樹」印
117	読書録	7	299-0060	173	下	江戸初写 「江雲涓樹」印
118	異端弁正	3	別 022-0002	174	上	江戸初写（林信勝） 「江雲涓樹」印
119	困知記	1	299-0084	174	下	江戸初写（林信勝） 「江雲涓樹」印
120	学節通弁	4	別 022-0003	174	下	朝鮮刊（続編林信勝補写） 林羅山手校本 「江雲涓樹」印
121	山中読書印	1	307-0085	175	上	江戸初写 林羅山手校本 「江雲涓樹」印なし
122	南阜鄒先生会語合編	1	299-0096	175	下	明万曆46序刊 「江雲涓樹」印
123	東山語録	1	307-0080	175	下	明刊 「江雲涓樹」印
124	聖学十図	1	299-0163	177	下	江戸初写 「江雲涓樹」印
125	六韜直解	2	299-0198	178	上	室町写 「江雲涓樹」印
126	施氏七書講義	17	299-0212	179	上	〔元和〕刊（古活） 林羅山手校本 「江雲涓樹」印、「読耕齋」印
127	武経七書直解	8	299-0214	179	下	元和6写 林羅山手校本 「江雲涓樹」印、「道春」印（朱）
128	武経開宗	6	299-0226	180	上	明刊 「江雲涓樹」印
129	武徳全書	1	299-0248	181	上	存2巻、江戸初写（林信勝等） 「江雲涓樹」印
130	講武全書	30	299-0250	181	上	清写 「江雲涓樹」印
131	経国雄略	20	299-0252	181	下	明刊（親社） 「江雲涓樹」印
132	武備志	37	299-0239	181	下	明天啓元序刊 「江雲涓樹」印
133	陣法	1	299-0272	182	下	江戸初写 「江雲涓樹」印
134	新刊官板批評正百将伝	5	299-0268	183	上	明万曆21刊（余氏萃慶堂） 「江雲涓樹」印
135	軍勝	1	299-0237	183	下	存3巻（巻8～10）、室町写 「江雲涓樹」印
136	新鐫漢丞相諸葛孔明異伝 奇論註解評林	1	299-0232	184	上	明刊（余文台） 「江雲涓樹」印

137	疑獄集	1	300-0057	185	上	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
138	棠陰比事	1	300-0020	185	上	(朝鮮刊本)、元和5写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印、「道春」印(朱)
139	洗冤集録	1	300-0025	185	下	(洗冤録)、明末刊(後印) 「江雲渭樹」印
140	祥刑要覽	1	300-0055	186	上	江戸写 「江雲渭樹」印
141	新刻摘選増補註釈法家要覽折獄明珠	1	300-0060	186	上	明万曆29刊 「江雲渭樹」印
142	補註釈文黄帝内経素問	7	300-0139	188	下	(趙府居敬堂刊本)、江戸初写 「江雲渭樹」印
143	刻黄帝内経素問鈔	5	300-0153	189	上	明万曆40刊(喬木山房) 「江雲渭樹」印
144	黄帝内経靈枢経	3	300-0158	189	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
145	鍼灸聚英	2	304-0249	191	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
146	鍼灸節要	1	304-0284	191	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
147	脈訣刊誤集解	1	303-0071	193	上	江戸初写 「江雲渭樹」印
148	脈語	1	303-0085	193	下	慶長13刊(古活) 「江雲渭樹」印
149	新增素問運氣図括定局立成	1	303-0010	194	下	江戸初写 「江雲渭樹」印、「羅山」印
150	新刊東垣十書医経溯洄集	1	303-0022	195	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
151	本草綱目	37	304-0300	228	下	(江西本)、明万曆31序刊(卷17欠) 「江雲渭樹」印
152	革節卮言	2	305-0210	240	上	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
153	天原発微	4	305-0249	243	上	明天順5刊(鮑氏耕誦書堂・後修) 「江雲渭樹」印
154	天文占	1	別 022-0006	243	下	(抄録本)、江戸初写(林信勝) 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
155	重訂校正魁板句解消砂経節図 地理訣要雪心賦	1	305-0263	244	上	明万曆30刊(余氏怡慶堂) 「江雲渭樹」印
156	刻仰止子参定正伝地理統一全書	14	291-0042	244	下	明崇禎元序刊 「江雲渭樹」印
157	新刻元龟会解断易神書	3	305-0284	245	下	明万曆刊(劉氏喬山堂) 「江雲渭樹」印
158	鼎鏡下筮啓蒙便説通玄断易大全	3	305-0283	245	下	明万曆44序刊 「江雲渭樹」印
159	黄石公望空四字数	1	305-0282	246	上	江戸初写 「江雲渭樹」印
160	古今識鑑	1	305-0291	246	上	明景泰2序刊 「江雲渭樹」印
161	諏折曆眼	8	305-0298	246	下	明天啓3序刊 「江雲渭樹」印
162	折日選要	3	306-0002	247	上	江戸写 「江雲渭樹」印
163	図絵宝鑑	2	306-0167	247	下	江戸初写 「江雲渭樹」印、「道春」印(朱)
164	琴経	2	306-0198	254	上	明万曆37序刊(卷1~8清補写) 「江雲渭樹」印
165	琴譜	2	306-0197	254	上	(陽春堂琴譜)、明刊 「江雲渭樹」印
166	爛柯経	2	306-0222	255	上	明〔嘉靖〕刊 「江雲渭樹」印
167	燕間四適	4	306-0219	255	下	明万曆39序刊 「江雲渭樹」印
168	茶書	5	306-0270	257	上	明万曆40序刊(後修) 「江雲渭樹」印
169	新增鷹鷲方	1	306-0307	259	上	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
170	郁離子	2	307-0082	261	上	明万曆18序刊(鄭能) 「江雲渭樹」印
171	林子	20	307-0088	262	上	(林子全集)、明刊 「江雲渭樹」印

172	自警編	6	308-0047	263	下	明刊 「江雲渭樹」印
173	丹鉛総録	5	307-0155	266	上	寛永14写 林羅山手校手跋本 「江雲渭樹」印
174	新刻古今原始	4	307-0161	266	上	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印なし
175	経史質疑	2	307-0159	266	上	江戸初写 「江雲渭樹」印
176	徐氏筆精	4	307-0172	266	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
177	筆談	3	307-0209	267	下	(夢溪筆談)、江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
178	春渚紀聞	1	307-0208	267	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
179	鶴林玉露	4	307-0213	268	上	明万曆12刊(仁実堂) 「江雲渭樹」印
180	新刊鶴林玉露	6	307-0212	268	上	[慶長・元和間]刊(古活) 「江雲渭樹」印
181	蓬窓日録	8	307-0250	268	下	明万曆18序刊 「江雲渭樹」印
182	五雑組	15	307-0242	269	上	明[万曆]刊(巻5欠) 「江雲渭樹」印
183	沈氏弋説	6	307-0258	269	下	明万曆43序刊 「江雲渭樹」印
184	小窓自紀	20	309-0174	269	下	明万曆42序刊 「江雲渭樹」印
185	焦氏筆乘	5	307-0240	270	上	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
186	新增格古要論	4	308-0005	272	上	明刊 「江雲渭樹」印
187	雅尚齋遵生八牋	11	308-0013	272	下	明万曆19序刊 「江雲渭樹」印
188	新雕皇朝類苑	15	308-0029	274	上	元和7刊(古活・勅版) 「江雲渭樹」印
189	琅邪代醉編	20	308-0065	275	上	明万曆25序刊 林羅山手校手跋本 「江雲渭樹」印
190	焦氏類林	8	308-0076	275	下	明万曆15序刊 「江雲渭樹」印
191	説類	10	308-0070	275	下	明刊 「江雲渭樹」印
192	標題徐状元補注蒙求	3	364-0098	276	上	[元和・寛永間]刊(古活) 「江雲渭樹」印
193	新刊音釈校正標類蒙求	1	364-0116	276	下	(新蒙求)、寛永20刊 「江雲渭樹」印
194	続蒙求分註	4	364-0126	276	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
195	刻鐘伯敬先生評選諸子嬋媛	6	308-0084	278	上	明天啓5序刊 「江雲渭樹」印
196	冷齋夜話	3	307-0207	282	下	[寛永]刊(古活) 「江雲渭樹」印
197	程史	4	308-0196	282	下	明刊 「江雲渭樹」印
198	南村輟耕録	8	308-0188	282	下	江戸初写 林羅山手校手跋本 「江雲渭樹」印
199	新鐫弧樹哀談	5	308-0207	283	上	明万曆29刊(宗文書舎) 「江雲渭樹」印
200	初潭集	8	308-0060	283	上	明[万曆]刊(後印) 「江雲渭樹」印
201	群譚採余	10	367-0105	283	下	明万曆20序刊 「江雲渭樹」印
202	玉堂叢語	4	308-0222	283	下	明万曆46序刊(曼山館・方拱乾等校・後修) 「江雲渭樹」印
203	東坡居士仏印禪師語録問答	1	311-0019	284	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
204	筆苑雜記	1	309-0103	285	上	江戸初写 「江雲渭樹」印
205	山海經	1	309-0088	285	上	明万曆28刊(格古齋) 「江雲渭樹」印、「道春」印(黒)
206	新刻出像増補搜神記	3	309-0087	285	下	明刊(唐氏富春堂) 「江雲渭樹」印

207	太平広記	52	309-0115	285	下	明刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
208	搜神秘覽	1	309-0119	286	上	江戸初写 「江雲渭樹」印
209	新編分類夷堅志	10	309-0120	286	上	明嘉靖 25 序刊 (清平山堂) 「江雲渭樹」印
210	狐媚藂談	2	309-0146	287	下	(明草玄居刊本)、江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印なし
211	新刻耳談	3	309-0127	287	下	(耳譚)、明万曆 30 刊 (余泗泉・後印) 「江雲渭樹」印
212	新刻続耳譚	6	309-0128	287	下	明万曆 31 序刊 「江雲渭樹」印
213	広諧史	10	309-0179	288	下	明万曆 43 序刊 「江雲渭樹」印
214	山水争奇	2	309-0046	288	下	明刊 (菘慶堂) 「江雲渭樹」印
215	花鳥争奇	2	309-0047	288	下	明刊 (菘慶堂) 「江雲渭樹」印
216	童婉争奇	1	309-0052	288	下	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
217	李卓吾先生批点四書笑	1	309-0089	289	上	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印なし
218	開卷一笑	6	309-0073	289	上	明刊 「江雲渭樹」印
219	鼎刻江湖歴覽杜騙新書	2	300-0054	289	下	(明張懷耿刊本)、江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
220	剪灯新話句解	1	309-0130	290	上	朝鮮刊 林羅山手校手跋本 「江雲渭樹」印
221	剪灯余話	1	309-0137	290	下	明成化 23 刊 (双桂堂) 「江雲渭樹」印
222	新鐫全像一見賞心編	2	309-0050	290	下	明刊 (菘慶堂) 「江雲渭樹」印
223	唐宋白孔六帖	50	364-0078	291	上	明〔嘉靖〕刊 「江雲渭樹」印
224	新刻事物紀原	5	365-0024	292	上	江戸写 「江雲渭樹」印
225	新編古今事文類聚	60	別 061-0001	292	上	元泰定 3 刊 (武漢書院) 「江雲渭樹」印 ※「北の丸」第 46 号、186 頁参照
226	新編事文類聚翰墨全書	22	366-0035	292	下	明正統 11 刊 (翠巖精舍) (有欠) 「江雲渭樹」印
227	修辭指南	8	366-0055	294	上	明刊 (後修) 「江雲渭樹」印
228	天中記	30	366-0081	294	上	明万曆 23 序刊 (後印) 「江雲渭樹」印
229	新纂事詞類奇	7	367-0033	294	下	明〔万曆〕刊 「江雲渭樹」印、「道春」印 (朱)
230	学海	80	367-0085	295	上	明万曆 36 序刊 「江雲渭樹」印
231	劉氏鴻書	20	367-0051	295	上	明万曆 39 序刊 「江雲渭樹」印
232	函書編	64	366-0085	295	上	明万曆 41 刊 「江雲渭樹」印
233	新鐫徽郡原板校正給像註釈便覽興賢日記故事	1	367-0073	298	上	明万曆 39 刊 (黄正甫) 「江雲渭樹」印
234	新刻名物方言	1	367-0127	299	下	(百名家書本)、江戸写 「江雲渭樹」印
235	駢志	10	366-0086	301	上	(明万曆 34 年序刊本)、江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印、「羅山」印
236	首楞嚴義疏注經	10	310-0014	303	下	寛永 9 刊 「江雲渭樹」印
237	大方広円覚修多羅了義經	1	309-0203	304	上	明刊 「江雲渭樹」印
238	大方広円覚修多羅了義經集註	3	310-0023	304	上	寛永 8 刊 「江雲渭樹」印
239	無量寿經優婆提舍願生偈註	2	310-0155	304	下	〔慶長・元和間〕刊 (古活) 「江雲渭樹」印
240	大衆金剛不空真実三昧耶經般若波羅密多理趣釈	1	310-0022	304	下	室町写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印

241	心経解	1	310-0024	304	下	(明万曆11年刊本)、江戸写 「江雲涓樹」印
242	金剛般若波羅蜜経註解	1	309-0207	305	上	江戸初写 「江雲涓樹」印
243	原人論	1	310-0059	306	上	寛永3写 「江雲涓樹」印
244	折疑論	1	310-0064	306	上	江戸初写 「江雲涓樹」印
245	大宋僧史略	1	310-0114	307	下	江戸初写 「江雲涓樹」印
246	景德伝灯録	14	別 064-0010	307	下	貞和4刊(延文3修・卷23～30補写) 林羅山手校本 「江雲涓樹」印
247	増集続伝灯録	4	310-0156	308	上	元和2刊(古活・妙心寺宗鉄) 「江雲涓樹」印、「道春」印(朱)
248	禅林僧宝伝	3	310-0119	308	上	室町写 「江雲涓樹」印
249	隆興釈教編年通論	15	310-0116	308	上	(隆興仏教編年通論)、[寛永]刊(古活) 「江雲涓樹」印
250	嘉泰普灯録	14	310-0122	308	上	南北朝刊(覆鎌倉・室町修・卷1～6補写) 「江雲涓樹」印
251	五家正宗賛	2	310-0125	308	上	慶長13刊(古活・一枝軒) 「江雲涓樹」印
252	五家正宗賛	4	310-0126	308	上	慶長13刊(古活・中村長兵衛尉) 「江雲涓樹」印
253	五灯会元	20	310-0130	308	下	寛永12刊(古活・中村宗遵) 「江雲涓樹」印
254	地藏菩薩像靈験記	1	310-0135	308	下	存1巻(巻1)、江戸写 「江雲涓樹」印
255	大惠普覚禅師年譜	1	311-0033	308	下	江戸初写 「江雲涓樹」印
256	禅苑蒙求	1	310-0140	308	下	室町写 「江雲涓樹」印
257	仏祖歴代通載	22	310-0133	308	下	慶長17刊(古活・本国寺) 「江雲涓樹」印
258	続集宗門統要	10	311-0077	308	下	明刊 「江雲涓樹」印
259	釈氏稽古略	5	310-0144	308	下	明崇禎11刊 「江雲涓樹」印
260	禅宗正脈	10	310-0145	309	上	明万曆33序刊 「江雲涓樹」印
261	鎮州臨濟慧照禅師語録	1	別 064-0006	309	上	永享9刊 「江雲涓樹」印
262	黄檗山断際禅師伝心法要	1	311-0014	309	上	室町写 「江雲涓樹」印
263	雲門匡真禅師広録	3	311-0018	309	下	慶長18刊(古活・妙心寺) 「江雲涓樹」印
264	禅宗唯心訣	1	311-0013	309	下	朝鮮弘治13刊(鳳栖寺) 「江雲涓樹」印
265	大惠普覚禅〔師〕語録	2	311-0028	309	下	江戸初写(林信勝) 「江雲涓樹」印
266	大惠普覚禅師宗門武庫	1	311-0047	309	下	寛永14刊 「江雲涓樹」印
267	正法眼蔵	6	311-0029	309	下	[元和・寛永間]刊(古活) 「江雲涓樹」印
268	真歌和尚拈古	1	311-0031	309	下	江戸初写 「江雲涓樹」印
269	仏海慧遠禅師広録	1	311-0030	310	上	存1巻(1巻)、江戸初写 「江雲涓樹」印
270	重修人天眼目集	3	311-0034	310	上	寛永12刊 「江雲涓樹」印
271	新編仏法大明	5	別 043-0009	310	上	[元和・寛永間]刊(古活) 「江雲涓樹」印
272	無門関	1	311-0032	310	上	天文5写 「江雲涓樹」印
273	虚堂和尚語録	7	311-0053	310	上	寛永9刊 「江雲涓樹」印
274	天目中峰和尚広録	10	311-0058	310	下	寛永4刊(古活) 「江雲涓樹」印
275	山菴雑録	1	311-0044	311	上	室町末写 「江雲涓樹」印
276	半峰録	1	311-0054	311	上	明刊(清響齋) 「江雲涓樹」印
277	四部録	1	311-0051	311	上	[寛永]刊(古活) 「江雲涓樹」印

278	少室六門	1	311-0068	311	上	江戸初写 「江雲渭樹」印
279	楽邦文類	5	311-0076	311	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
280	蒲室疏	1	311-0069	311	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
281	蓮宗宝鑑	2	310-0146	311	下	明刊 「江雲渭樹」印
282	金屑編	1	311-0074	312	上	明刊(清譽齋) 「江雲渭樹」印
283	珊瑚林	1	311-0075	312	上	明刊(清譽齋) 「江雲渭樹」印
284	羅湖野録	1	311-0083	312	上	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
285	釈氏要覧	3	310-0167	313	上	〔慶長〕刊(古活) 「江雲渭樹」印
286	宗鏡録	20	310-0055	313	上	明万曆30・31刊 「江雲渭樹」印
287	祖庭事苑	4	310-0115	313	下	〔寛永〕刊(古活) 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
288	蔵乘法数	1	310-0171	313	下	〔慶長・元和間〕刊(覆応永) 「江雲渭樹」印
289	禅林類聚	20	310-0170	313	下	江戸初刊(覆貞治) 「江雲渭樹」印
290	大蔵一覽	5	311-0015	313	下	明初刊 「江雲渭樹」印
291	大蔵一覽集	11	311-0009	313	下	慶長20刊(古活・駿河版) 「江雲渭樹」印
292	大蔵一覽集	11	311-0008	314	上	慶長20刊(古活・駿河版) 「江雲渭樹」印、「胡蝶洞」印
293	新刊道書全集張洪陽註解陰符經	1	311-0246	317	上	江戸写 「江雲渭樹」印
294	老子虞齋口義	1	311-0188	317	下	江戸刊(寛永4印) 「江雲渭樹」印
295	老子虞齋口義	1	311-0190	317	下	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
296	老子虞齋口義	1	311-0195	317	下	明万曆2序刊(敬義堂) 「江雲渭樹」印
297	老子翼	3	311-0196	317	下	明万曆16序刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
298	老子通	2	311-0193	317	下	明万曆27序刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印なし
299	列子虞齋口義	2	311-0247	318	上	〔慶長・元和間〕刊(古活) 「江雲渭樹」印
300	周易参同契弁揮	1	311-0270	319	上	(卷中欠)、江戸写 「江雲渭樹」印
301	周易参同契註解	2	311-0271	319	上	(明弘治14年劉氏刊本)、江戸写 「江雲渭樹」印
302	新録抱朴子	4	311-0234	319	下	明万曆12序刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
303	御註心印經	1	311-0269	319	下	(明嘉靖4年重刊本)、江戸初写 「江雲渭樹」印
304	白先生雜著指玄篇	1	別 063-0005	320	上	元刊(勤有堂) 「江雲渭樹」印 ※「北の丸」第46号、191頁参照
305	清庵先生中和集	1	別 063-0004	320	上	(前集)、元大徳10刊(翠峰丹房) 「江雲渭樹」印 ※「北の丸」第46号、191頁参照
306	太上感應篇経伝	1	311-0255	320	下	明刊 「江雲渭樹」印
307	列仙伝	1	311-0256	321	上	〔寛永〕刊(古活) 「江雲渭樹」印
308	広列仙伝	4	311-0257	321	下	明万曆11序刊 「江雲渭樹」印
309	浮明忠孝全書	1	311-0281	321	下	明景泰3序刊 「江雲渭樹」印
310	楚辞	4	別 043-0002	323	上	明万曆刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
311	楚辞句解評林	1	312-0104	323	上	明万曆刊 「江雲渭樹」印

312	楚辭	3	別 043-0006	323	下	朝鮮刊 「江雲渭樹」印、「道春」印（朱）
313	陶靖節集	2	314-0174	324	下	明万曆7跋刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
314	類選註釈駱丞全集	2	314-0181	325	上	明刊 「江雲渭樹」印
315	唐丞相曲江張先生文集	4	314-0182	325	上	明〔嘉靖〕刊 「江雲渭樹」印
316	須溪先生批点孟浩然集	1	312-0178	325	下	江戸写 「江雲渭樹」印
317	寒山詩	1	312-0122	325	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
318	唐翰林李太白文集	1	313-0361	326	上	（別集）、朝鮮正統12刊（慶尚道） 「江雲渭樹」印
319	分類補註李太白詩	6	312-0127	326	上	明刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
320	集千家註杜工部詩集	6	312-0128	326	下	明刊 「江雲渭樹」印
321	杜工部草堂詩箋	10	別 041-0002	326	下	（外集欠）、元大德刊（陳氏） 「江雲渭樹」印 ※「北の丸」第46号、194頁参照
322	内閣批選杜工部詩律金声	3	358-0079	326	下	明万曆37刊（積善堂） 「江雲渭樹」印
323	翰林放正杜律五言趙註句解	2	312-0139	327	上	明万曆30刊（鄭氏宗文堂） 「江雲渭樹」印
324	杜律詹言	2	別 041-0003	327	上	明万曆25跋刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
325	李元寶文集	1	313-0376	328	上	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
326	唐李長吉歌詩	2	312-0192	328	上	（元至元刊本）、江戸写 「江雲渭樹」印
327	新刊五百家註音弁唐柳先生文集	15	別 041-0005	329	上	嘉慶元刊（愈良甫・第15冊補写） 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
328	昌黎先生集音釈	6	314-0218	329	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
329	五百家註音弁昌黎先生文集	10	別 057-0004	329	下	南北朝刊（後修） 「江雲渭樹」印
330	唐歐陽先生文集	2	315-0024	330	上	明万曆34序刊 「江雲渭樹」印
331	劉夢得文集	6	315-0023	330	下	江戸写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
332	樊川文集	5	313-0371	331	上	（明刊本）、江戸初写 「江雲渭樹」印
333	樊川文集夾註	3	別 044-0002	331	上	朝鮮刊 「江雲渭樹」印
334	新板増広附音釈文胡曾詩註	1	別 060-0008	331	下	存1卷（至烏江）、南北朝刊 「江雲渭樹」印
335	伊川擊壤集	4	312-0207	333	上	朝鮮刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印なし
336	臨川王先生荊公文集	12	315-0077	334	上	明嘉靖25序刊 「江雲渭樹」印
337	重刊蘇文忠公全集	28	315-0084	335	上	明成化4序刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
338	東坡集	2	315-0087	335	下	（坡仙集）、存卷11～16、明万曆刊 「江雲渭樹」印
339	後山先生集	7	315-0094	336	下	朝鮮刊（古活） 「江雲渭樹」印
340	山谷詩註	20	312-0248	337	上	朝鮮刊（古活） 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
341	屏山集	2	315-0123	338	下	明正徳7跋刊 「江雲渭樹」印
342	象山先生全集	7	316-0015	339	上	明嘉靖39刊（金谿県） 「江雲渭樹」印
343	象山先生全集	10	316-0016	339	上	（明嘉靖39年刊本）、元和9写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
344	晦庵先生朱文公文集	64	315-0136	339	下	（朱子大全）、明刊（嘉靖11修） 「江雲渭樹」印

345	無文印	4	別 054-0007	340	下	室町写 「江雲渭樹」印
346	分類秋崖先生詩藁大全	6	312-0299	341	上	江戸初写 「江雲渭樹」印
347	魯齋全書	2	316-0045	342	下	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
348	石堂先生遺集	10	316-0011	342	下	明万曆3序刊 「江雲渭樹」印
349	夢觀集	3	312-0298	343	下	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
350	宋学士文粹	3	314-0013	345	上	明洪武10刊 「江雲渭樹」印
351	定山先生集	5	316-0136	347	上	明嘉靖14序刊 「江雲渭樹」印
352	白沙子全集	10	316-0111	347	下	明万曆40序刊 「江雲渭樹」印
353	新刻国朝白沙陳先生詩選	1	313-0013	347	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
354	唐伯虎集	3	317-0073	349	上	明万曆40序刊(翠竺山房) 「江雲渭樹」印
355	陽明先生文粹	2	314-0014	349	下	明隆慶6刊 「江雲渭樹」印
356	陽明先生詩録	1	313-0016	349	下	存3巻(巻2~4)、明刊 「江雲渭樹」印
357	太師張文忠公集	10	316-0129	350	下	明万曆43序刊(勅建貞義書院) 「江雲渭樹」印
358	丁戊山人詩集	4	313-0028	352	上	明刊 「江雲渭樹」印
359	王氏存笥稿	5	316-0148	352	上	明嘉靖40序刊 「江雲渭樹」印
360	副墨	2	317-0013	353	下	明刊 「江雲渭樹」印(上下逆)
361	見羅李先生觀我堂稿	5	314-0076	353	下	明刊(愛成堂) 「江雲渭樹」印
362	南雋集文類	3	314-0039	354	上	江戸初写(巻10~20欠) 「江雲渭樹」印
363	趙文肅公集	2	316-0139	356	上	明刊 「江雲渭樹」印
364	徐文長文集	10	317-0135	358	上	明万曆42序刊 「江雲渭樹」印
365	一枝堂稿	1	317-0131	358	上	明万曆序刊(清警齋) 「江雲渭樹」印
366	重刻楊復所先生家藏文集	4	317-0092	358	下	(楊太史文集)、明刊 「江雲渭樹」印
367	李氏焚書	4	317-0095	359	上	明〔万曆〕刊 「江雲渭樹」印
368	湯海若問棘郵草	1	313-0104	361	上	明刊 「江雲渭樹」印
369	甲秀園集	7	317-0106	361	下	明刊(巻9~12補写) 「江雲渭樹」印
370	歇菴集	4	317-0017	362	下	明万曆39刊(劉氏喬山堂) 「江雲渭樹」印
371	隱秀軒詩集	8	317-0162	365	下	明天啓2序刊 「江雲渭樹」印
372	蒼霞草	18	314-0074	366	上	明刊 「江雲渭樹」印
373	新刻譚友夏合集	10	317-0118	366	下	明刊(嶽婦堂) 「江雲渭樹」印
374	容台文集	10	317-0147	367	上	明崇禎3序刊 「江雲渭樹」印
375	秦齋怨	1	313-0090	370	上	明崇禎9序刊 「江雲渭樹」印
376	宋洪魏公進万首唐人絶句	30	319-0068	387	上	明万曆35序刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
377	唐詩絶句	1	319-0077	387	下	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
378	新刊唐詩鼓吹註解大全	4	319-0092	388	上	明万曆20刊(鄭雲齋) 「江雲渭樹」印
379	李詩鈔述註	16	312-0180	392	上	附杜詩鈔述註、明万曆27序刊 「江雲渭樹」印
380	国朝文類	10	362-0048	395	下	元末明初刊(巻3・6~13・54・55補写) 「江雲渭樹」印 ※「北の丸」第46号、205頁参照

381	皇元風雅	4	別 059-0004	395	下	南北朝刊（覆刻・後集1～3補写） 「江雲渭樹」印
382	魏国朝評釈名公瓊琚詩選	2	358-0109	397	上	明刊（余泗泉） 「江雲渭樹」印
383	陳氏家集	7	317-0185	401	下	明崇禎3序刊 「江雲渭樹」印
384	古文苑	4	361-0057	405	下	明弘治12跋刊 林羅山手校本 「江雲渭樹」印、「道春」印（朱）
385	文選纂註評苑	16	361-0045	406	下	明万曆24序刊（余氏克勤齋） 「江雲渭樹」印
386	古逸詩載	4	319-0016	407	下	明刊 「江雲渭樹」印
387	魁本大字諸儒箋解古文真宝	2	別 054-0005	409	上	（後集）、室町刊 「江雲渭樹」印
388	魁本大字諸儒箋解古文真宝	2	362-0021	409	上	（後集）、寛永元刊 「江雲渭樹」印
389	古文世編	50	359-0054	411	上	明万曆38序刊 「江雲渭樹」印
390	千古斯文	7	359-0082	412	上	附書集、明万曆43刊 「江雲渭樹」印
391	石倉十二代詩選	142	319-0025	412	上	（歴代詩選）、明刊（補写） 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
392	天壤遺文	4	359-0094	412	上	明刊 「江雲渭樹」印
393	文苑英華	100	361-0053	418	下	明隆慶元序刊 「江雲渭樹」印
394	瀛奎律髓	12	358-0032	419	下	（明成化3年刊本）、朝鮮刊 「江雲渭樹」印
395	清源文献	10	360-0125	425	上	明万曆刊（泉州府） 「江雲渭樹」印
396	晋安風雅	4	358-0188	425	上	明万曆26序刊 「江雲渭樹」印（別印か？） 「羅山」印、「胡蝶洞」印
397	三子金蘭翰墨	1	364-0024	426	下	明万曆28刊 「江雲渭樹」印
398	韻語陽秋	2	363-0074	429	上	江戸初写 「江雲渭樹」印
399	新刊名賢叢話詩林広記	4	別 058-0001	429	下	宋刊（前集室町補写・前集巻5～10欠） 林羅山手校本 「江雲渭樹」印なし ※「北の丸」第46号、203頁参照
400	古文矜式	1	363-0181	429	下	江戸初写 「江雲渭樹」印
401	木天禁語	1	363-0140	429	下	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
402	新刻註釈草堂詩余評林	2	363-0213	432	下	明万曆36刊（起秀堂） 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
403	嘯余譜	10	363-0232	434	上	明万曆47序刊 「江雲渭樹」印
404	重刻元本題評音釈西廂記	2	309-0096	435	上	明万曆20刊（熊氏忠正堂） 「江雲渭樹」印
405	新鶴陳眉公先生批評春秋列国志伝	12	308-0236	436	下	明刊（龔紹山） 「江雲渭樹」印
406	新刊皇明諸司廉明奇判公案	2	300-0056	438	下	江戸初写 林羅山手校本 「江雲渭樹」印
407	新刻名公神断明鏡公案	1	300-0062	438	下	明刊（王氏三槐堂、巻5～7欠） 「江雲渭樹」印
408	新刊八仙出処東遊記	2	308-0255	439	下	（八仙伝）、明刊（余文台） 「江雲渭樹」印
409	百川学海	33	370-0035	452	上	明刊 「江雲渭樹」印
410	続百川学海	31	370-0038	455	下	明刊（有欠） 「江雲渭樹」印
411	広百川学海	32	370-0041	458	下	明刊 「江雲渭樹」印
412	古今説海	20	370-0003	510	上	明嘉靖23序刊（儼山書院） 「江雲渭樹」印
413	稗海	100	370-0044	521	上	明〔万曆〕刊 「江雲渭樹」印
414	百家名書	40	370-0040	525	上	明万曆31序刊 「江雲渭樹」印

415	尚白齋鑄陳眉公宝顔堂秘笈	12	370-0050	526	下	明〔万曆〕刊(後修) 「江雲涓樹」印
416	尚白齋鑄陳眉公訂正秘笈	12	370-0052・1	527	下	(尚白齋秘笈)、明刊 「江雲涓樹」印
417	尚白齋鑄陳眉公家藏秘笈続函	18	370-0052・4	531	上	明刊 「江雲涓樹」印なし
418	欣賞編	4	308-0054	536	下	明刊 「江雲涓樹」印
419	五朝小説	24	371-0008	539	下	(存唐人百家小説)、明刊 「江雲涓樹」印
420	五朝小説	24	371-0006	540	下	(存宋人百家小説)、明刊 「江雲涓樹」印
421	大雅堂訂正枕中十種	4	369-0067	586	上	明刊 「江雲涓樹」印
422	袁氏叢書	1	369-0064	598	下	江戸初写 「江雲涓樹」印
準漢籍						
423	大学要略	2	191-0150	604	下	(逐鹿評)、寛永7刊 「江雲涓樹」印
424	性理字義諺解	5	190-0287	613	下	林信勝撰、〔江戸初〕写 林羅山手跋本 「江雲涓樹」印
425	六韜諺解	3	189-0308	613	下	林信勝撰、〔江戸初〕写 「江雲涓樹」印
426	孫子諺解	1	191-0281	614	上	林信勝撰、〔江戸初〕写 林羅山手跋本 「道春」印(墨)
427	孫呉摘語	1	189-0302	614	上	林信勝撰、〔江戸初〕刊 「江雲涓樹」印
428	呉子諺解	1	189-0305	614	下	林信勝撰、〔江戸初〕写 林羅山手跋本 「江雲涓樹」印
429	司馬法諺解	1	189-0315	614	下	林信勝撰、〔江戸初〕写 「江雲涓樹」印
430	三略諺解	1	189-0319	615	上	林信勝撰、〔江戸初〕写 林羅山手跋本 「江雲涓樹」印、「道春」印(墨)
431	尉繚子諺解	2	189-0317	615	上	林信勝撰、〔江戸初〕写 「江雲涓樹」印
432	唐太宗李衛公問对諺解	3	189-0307	615	上	(太宗問对諺解)、林信勝撰、〔江戸初〕写 「江雲涓樹」印
433	百戦奇法諺解	1	189-0342	615	上	林信勝撰、〔江戸初〕写 林羅山手跋本 「江雲涓樹」印
434	長恨歌私考	1	特 119-0013	620	上	(羅浮道春涉獵抄) 林信勝撰、〔江戸初〕写(自筆等) 「江雲涓樹」印
435	歌行露雪	1	特 119-0012	620	上	林信勝撰、〔室町末〕写(自筆等) 「江雲涓樹」印
436	新編江湖風月集略註	2	特 113-0009	620	下	(慶長・元和間)刊(古活) 「江雲涓樹」印
437	五老集	1	364-0013	623	上	(五先生手簡)、〔江戸初〕写 林羅山手跋本 「江雲涓樹」印、「読耕齋」印
		4385				